駒澤大学2－3青山学院大学

続く不安定な戦い 昇格遠のく…

失点し落胆する選手ら
（撮影：鎌田航平）

9 月 30 日 11：30 青山学院大学緑ヶ丘グラウンド

駒大	2	(0-2) (2-1)	3	青学大

得点者（ｱｼｽﾄ）

[駒]56 分碓井(宮城)	[青]21 分西田(木澤)
[駒]62 分山本(湯澤)	[青]42 分白井(西田)
	[青]76 分荒木(西田)

KOMAZAWA	AOYAMAGAKUIN
GK①大石健太(3)	GK①若尾直道(4)
DF⑭大木　暁(2)	DF②御牧孝介(4)
DF④三澤祥馬 (4)	DF⑮中村祥太(3)
DF⑬平尾優頼(2)	DF㉒中村周平(3)
DF③田中雄一(3)	DF⑳服部真矢(2)
MF⑥若山瞭太(3)	MF⑤白井悠太(4)
MF⑧碓井鉄平(3)	MF⑩木澤純平(3)
MF⑦奥村　情(4)	(73 分㉔新村賢祐(3))
(78 分⑫小牟田洋佑 (2))	MF⑭荒木大吾(1)
MF⑩湯澤洋介(4)	MF⑱関谷　祐(2)
MF⑨山本大貴(3)	FW㉝西田直斗(4)
FW⑤宮城雅史(4)	(90 分⑨原之園卓也(2))
(59 分⑪小牧成亘(3))	FW⑰若狭友佑(4)
S　U　B	S　U　B
GK㉑檜山昇吾(3)	GK⑩橋本勇樹(3)
DF②友廣壮希 (3)	DF③早田　廉(4)
DF㉖嶋谷昇大 (1)	MF㉜木下卓也(4)
MF㉔中村　駿(1)	MF⑲石沢哲也(3)
MF㉜立石忠之(1)	FW㉗高橋愛斗(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	西川誠太

[シュート]17:19 [GK]12:16 [CK] 9:6 [直接 FK]12:22
[間接 FK]4:3 [主審]高寺恒如 [観衆]112 人

警告(C)／退場(S)

[駒]33 分平尾優頼(C)
[駒]75 分奥村　情(C)
[駒]90+5 分山本大貴(C)

※データの左側が駒大

粘りを見せるも力負け

昇格へ向けて早くも黄色信だ。一時は２点のビハインドから追いつくなど粘りを見せるも、最終的には２-３の敗戦。これで２位･桐蔭大との勝ち点差は「７」へと広がってしまった。

最初にリズムを掴んだのは駒大だった。後期リーグ初のスタメンとなった宮城が前線でボールを収めると２列目の選手が次々と裏へ飛び出し、守っても素早い切り替えから何度も高い位置でボールを奪い返しては青学ゴールに迫った。しかし、チャンスを決めきれずにいると一瞬の隙を突かれる。２１分、白井に対する若山のチェックが一瞬遅れると青学の速攻が発動。木澤のパスを受けた西田にフリーでシュートを打たれ先制を許す。ここからペースは一気に青学へ。何とか大石の好セーブで凌いでいたが４２分、ペナルティーエリア周辺で何本もパスを繋がれ最後は白井に強烈なミドルシュートを決められて０-２。そのまま前半を終える。

後半に入ると再び駒大がペースを掴む。「相手のプレスが弱い」（秋田監督）こともあり、中盤で前を向けるようになりパスが供給されるようになる。すると、後半開始直後から湯澤、宮城らが決定機を迎えるが前半同様決めることが出来ない。それでも５６分、ルーズボールに反応した山本がエリア内で倒されＰＫ獲得。これを碓井が難なく決め１点差とする。さらに６２分、湯澤の低いクロスにうまくディフェンスの背後をとった山本が冷静に流し込み、遂に試合を振り出しに戻した。

早い時間に追いつき、試合は完全な駒大ペース。逆転は時間の問題かと思われた。しかし７６分、交代で入った新村に中央を突破されるとマークにズレが生じ最後は荒木にネットを揺らされた。秋田監督はすぐに小牟田を投入しパワープレーに出たが、５分あったロスタイムも空しく過ぎ試合終了。昇格が遠のく痛い敗戦となった。

試合後、選手たちは口々に「失点が多い」と話した。サッカーに於いて一番警戒しなければならない中央から崩されることがあまりにも多く、これではいくら得点を重ねても勝点を重ねることは難しい。これは前期から続いている問題であり早急に改善しなければならない。

この日２得点の山本は「ここからは全勝の気持ちで行く」と危機感を示した。残り８試合。もう後がない。　（猪熊脩登）